

三井共同建設コンサルタント 市民合意形成のしごと

>>>キーワード

コミュニケーション
パートナーシップ
パブリック・インボルブメント
アカウンタビリティ
市民活動支援

>>>参考事例

- 市民参加事業
- ワークショップ
- シンポジウム・パネルディスカッション
- 環境学習イベント
- オープンハウス

三井共同建設コンサルタント株式会社は、変革する社会環境やクライアントニーズに対応した最新技術の調査・研究・開発を行っています。市民の方々との合意形成についても重要課題として社内の研究所で、研究し、マニュアル等を作成して対応しています。



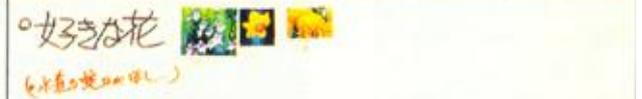
社会資本整備は、その社会に帰属する多くの市民の合意のもと実施されなければなりません。そして、市民の方々はもとより、行政、民間企業、各種団体の方々など、その社会資本整備のうえで生活するすべての人々は、地域のことを思いやり、地域に貢献する責務を担うことが求められます。「地域への貢献」と「市民活動の支援」。これからの社会にとって、とても大切なキーワードです。

三井共同建設コンサルタント株式会社は、未来の社会を見つめて、合意形成に関する研究と人材育成を進めています。

この冊子は、弊社の合意形成に関わる実績の写真をまとめたものです。各業務それぞれ、苦労した点や大いに発展するきっかけとなった事柄などいろいろなエピソードがあります。お問い合わせをお待ちしております。

一般県道西岐波吉見線道路改良工事に伴う設計業務委託
 <宇部あかり園前残地整備ワークショップ風景>

道路整備によって生じた残地の有効利用
 についてワークショップで検討しました。





* 建設委員会とのワークショップ

- ・ 近隣センターの建物や敷地のあり方を検討するため、ワークショップで検討を行いました。ワークショップには、我々と建設委員会（48名）と市担当が参加しました。
- ・ 48名が3グループに分かれ、意見を出し合っって案を煮詰め、それを発表し、統一した設計案へ一歩一歩近づくという作業の繰り返しを行いました。



* 現地見学会

- ・ 敷地内の樹木の6割を残して建物を建てるという命題のため、現地の樹木一本一本にナンバリングを行い、そのうち主要な樹木にはテープで樹名を貼り付けました。
- ・ 実際の設計建物の大きさや保存する樹木との関係が皆にわかるように建物の外壁面の位置をスズランテープで囲って、その位置を確かめるように歩いたりもしました。

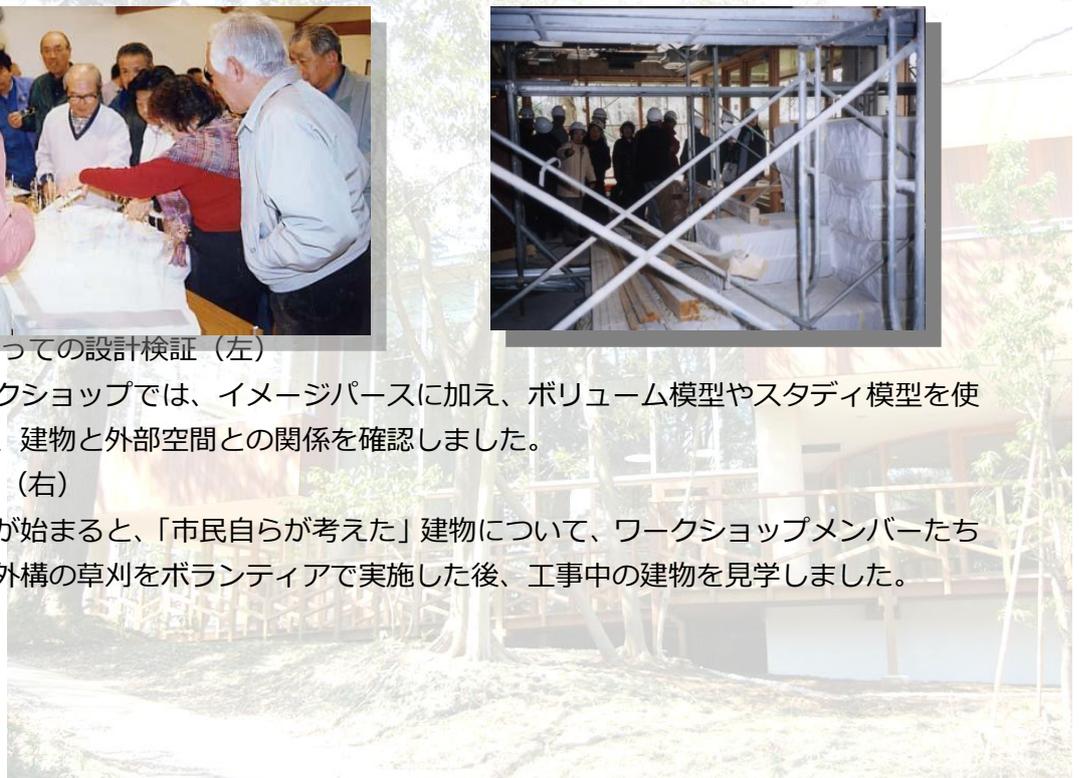


* 模型を使った設計検証（左）

- ・ ワorkshopでは、イメージパースに加え、ポリウム模型やスタディ模型を使って、建物と外部空間との関係を確認しました。

* 工事見学（右）

- ・ 工事が始まると、「市民自らが考えた」建物について、ワークショップメンバーたちは、外構の草刈をボランティアで実施した後、工事中の建物を見学しました。



近隣センターこもれびの設計とまちづくり協議会への支援
＜ワークショップ、住民活動支援等多様な業務＞その2

建築・外構設計とともに、地域住民がつくるまちづくり協議会のサポートを実施。

- ・ 「近隣センターこもれび」は、我孫子市に造られた建物で、その土地は、戦中戦後の総理大臣近衛文麿の別荘跡地の森でした。この樹林の6割を残しながら、緑に囲まれた建物の設計を行いました。設計作業では地区住民とのワークショップで検討し、施工監理業務の実施中にも造られつつある建物の見学会などを開催しました。
- ・ さらに、建物がオープンした後は、豊かな森を活かした草花や樹林を観察するイベントをサポートしました。



建物外観



建築設計時のワークショップの様子。現地検討会や模型による検討、本物の素材による確認なども実施しました。



庄内川志段味地区ビオトープ設計業務
 <地元NPO等との協働による計画づくり>

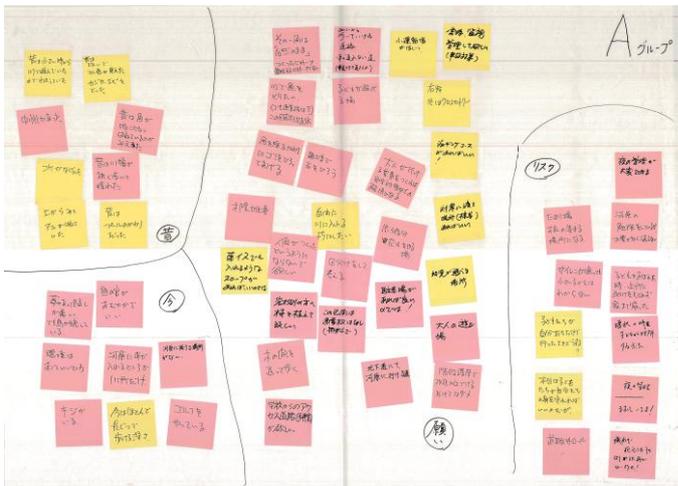
ビオトープの設計、維持管理計画を市民団体とともに立案しました。



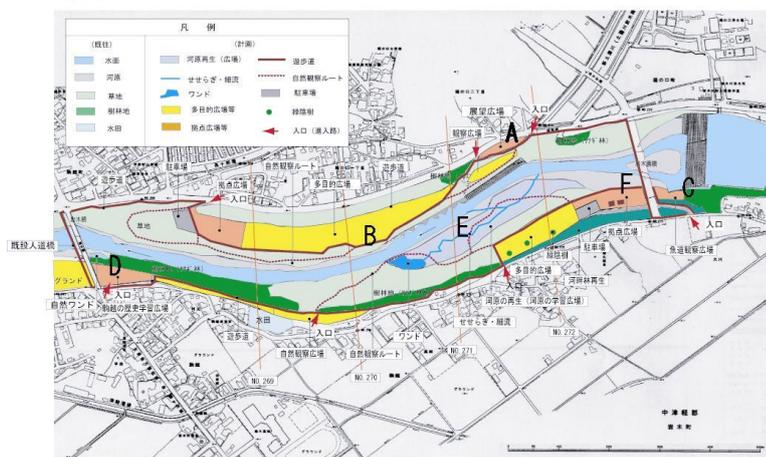
ビオトープ施工後写真

岩木川岩木地区水辺の楽校基本構想 <学校関係・地元住民等とのワークショップ>

水辺の楽校の基本構想の策定を関係者の方々ととのワークショップで行いました。



配置計画平面図



浅瀬石川ダム資料館利用計画

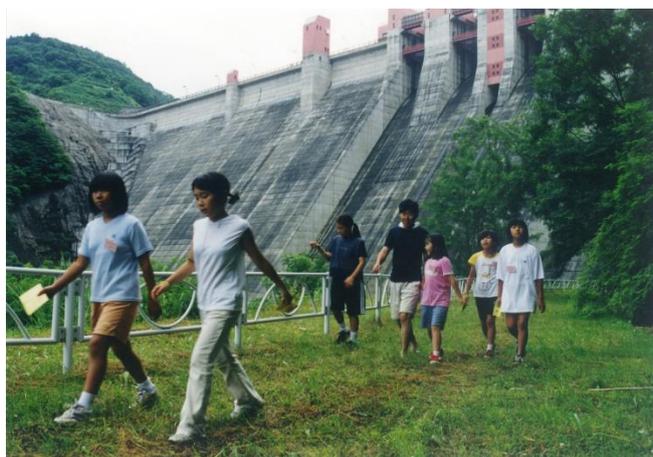
＜子どもたちが参加するイベント企画・運営＞

ダム周辺の自然環境やダムの堤体内を観察するイベント企画

タイムスケジュール

時間割	内容
7月24日 13:00	集合・説明（虹の湖公園）
13:30～ 17:00	「湖畔ウォーキング」（虹の湖公園～一渡地区の河原約2.5km） 「自然体験教室」①河原の楽しみ方 ②生物・植物観察
17:00～ 20:00	屋外での食事の準備（飯ごう炊飯、芋煮等、翌日の朝食準備等）
20:00～ 20:30	資料館および管理所内へ移動、就寝準備
20:30～ 21:00	自由時間 就寝
7月25日 6:00	起床
6:10～ 6:30	自由時間または「早朝探鳥会」（自由参加）（探鳥会参加者は6:10集合）
6:30～ 8:00	朝食準備、朝食
8:00～ 10:00	ダム湖一周クイズラリー
10:00～ 11:30	作文作成（イベントに参加した感想など）と報告会
11:30～ 12:00	虹の湖のメッセージ（今後の自然学習のための案内）
12:00	自由解散・ダム湖祭りへ移動

植樹祭



クイズラリー

自然観察会



菊池川の魅力あるまちづくりシンポジウム
 <歴史遺産を活用したシンポジウムの企画>

川づくり業務に関連して、シンポジウム、
 パネルディスカッションを企画運営。

公開講演・公開シンポジウム

歴史を思い、未来をみつめる

～人と川 菊池川のあるまちづくり～

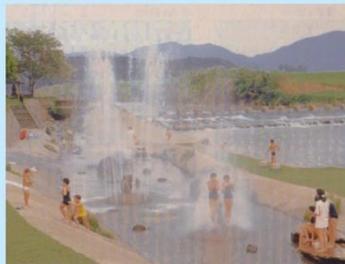
昨今、都市計画が「まちづくり」と呼ばれ、河川整備が「川づくり」と呼ばれるようになってきました。行政だけではなく、地域の人々自らが、これらを実践し、皆で協力して「手づくり」していくということです。菊池川流域は川を中心とした豊かな文化と歴史があります。今こそ、流域の自然、歴史を活かし、そして何よりも流域の人々の手により、活気のある、菊池川を活かしたまちづくりを進めていくことが求められています。

基調講演

講演者：山脇正俊/近自然工学研究者/スイス連邦工科大学講師
 恵小百合/江戸川大学教授/
 (社)日本ナショナルトラスト協会理事

パネルディスカッション

座長：米沢和彦/熊本県立大学教授
 パネラー：恵小百合(前掲)
 山脇正俊(前掲)
 井口圭祐/下町窓門会会長
 田村直美/NPO 七城環境ネットワーク
 前瀬康彦/菊水町経済課商工観光係
 松尾聖子/スローライフデザイン「緑側ゆにっと」代表



開催日時：**平成 15年 3月 14日 (金)**
 13:00～ 16:00

開催場所：**八千代座**
 住所：〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1499
 電話：0968-44-4004(FAX共)
 主催：国土交通省 九州地方整備局
 菊池川工事事務所
 定員：655名(参加無料)

交通のご案内

- ◆菊水ICより車で約20分
- ◆熊本ICより車で約20分



お問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局 菊池川工事事務所 調査課
 〒861-0501 熊本県山鹿市大字山鹿178番地
 TEL. 0968-44-2171 FAX.0968-44-8061



国営木曾三川公園センター公園設計
＜オープンハウス方式による遊具の選定＞

供用されている公園の遊具の改修について、公園利用者の意向を取り入れて設計。



河川歴史公園基本構想・基本計画・基本設計・実施設計
 <子どもから大人まで、幅広い層のワークショップ>

歴史的に名高い土木遺構を活用した公園整備を公募・私募双方の参加者で検討



- 大人たちは計画地周辺を船上体験
 閘門、歴史的な堰、豊かな風景を鑑賞



- 子どもたちは現地で自然体験学習
 鳥のお兄さん、動物のお兄さん、植物のお兄さんから学習

平成 23 年度 全建賞受賞
 日経コンストラクション掲載

基本構想～実施設計

現地検討会、分流体験隊（子どもたちの自然体験）、歴史を学ぶ講演会、ワークショップ（大人部会・子ども部会）



全建賞【景観と歴史に配慮した旧北上川分流堰地区改修事業】

茶屋川ワークショップ業務
 <自治体・地元住民等とのワークショップ>

本川から切り離された旧川の整備計画を
 地元住民とともに立案しました。



現地見学会



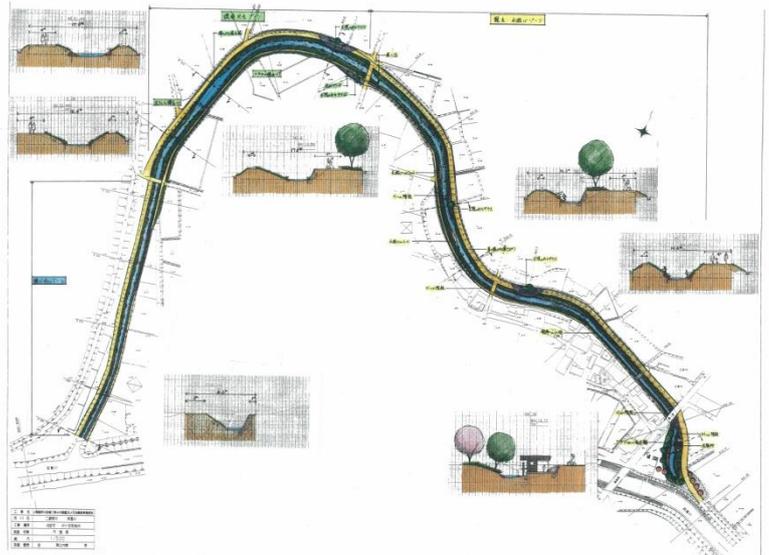
ワークショップ



1年目 ● 地元住民、刈谷市、愛知県をメンバーとするワークショップを実施し、茶屋川の整備方針を議論していきました。



ワークショップ



2年目 ● ワークショップを継続し、1年目に設定した方針をもとに施設の配置計画について議論を行い、右図の整備イメージ図を完成させました。

秋里川河川環境整備計画
＜ホテルの生息環境改善のための河川敷整備計画＞

地域資源であるホテルを保全・活用するために、ワークショップを行いました。



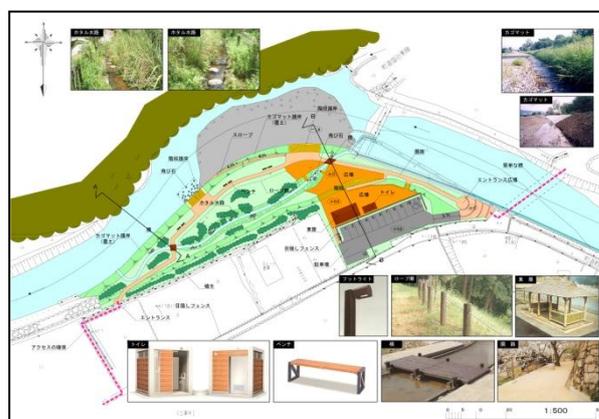
ワークショップの様子



現地検討会



ワークショップの様子



出来上がった構想図



構想図をもとにパース図を作成し、解りやすく完成後の姿をお示します。

浜通り歴史の道の巡検支援

＜「浜通り歴史の道研究会」をサポートした運営支援＞

地域の歴史的な資産を多くの方々とともに訪ね歩く勉強会です。

第1回 浜通り歴史の道巡検マップ

～新地宿から鹿島宿まで～

新地宿(新倉城)跡
新地宿は新倉城跡の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

新地長
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

新地町
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

子宿神社
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

朝の福城(朝の福城)跡
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

三葉地蔵堂
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

新地宿歴史館
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

新地宿歴史館
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

新地宿歴史館
新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。新地宿の歴史文化施設「新地宿歴史館」が中心となり、新地宿の歴史を伝える。

歴史の道再発見 浜通り歴史の道研究会
[事務局] いわき市平字五郎町 3-1
TEL: 0246-23-0463 FAX: 0246-25-0241

このマップは、平成17年10月(日)に開催された第1回「浜通り歴史の道」巡検(主催:浜通り歴史の道研究会)にて提供された資料に基づき作成されたものです。資料の記載内容と異なる場合があります。また、このマップは、平成17年10月(日)に開催された第1回「浜通り歴史の道」巡検(主催:浜通り歴史の道研究会)にて提供された資料に基づき作成されたものです。資料の記載内容と異なる場合があります。また、このマップは、平成17年10月(日)に開催された第1回「浜通り歴史の道」巡検(主催:浜通り歴史の道研究会)にて提供された資料に基づき作成されたものです。資料の記載内容と異なる場合があります。



復興まちづくりを市民とともに
＜公共施設の整備計画案を市民とともにつくる＞

「復興まちづくり」のワークショップを行っています。

東日本大震災ののち、各地で復興まちづくりが進められています。

東松島市では、復興のために策定された各種計画に基づき、野蒜、東矢本両地区での津波防災拠点市街地形成施設として、津波復興拠点整備事業等により整備を予定している公益施設について、地域住民との方々の意見をまとめながら設定を行いました。



市民合意形成について

1. 基本的定義

PI：パブリックインボルブメント public involvement

行政施策の立案に際し、一般の人々（Public）に、施策形成の過程に入ってもらう（Involvement）、より民意を反映した施策の実現を図る手法。

パブリックコメント public comment

政府や、政府関係機関が、法律などを制定する際に不特定多数の一般人から意見を受け付ける。この意見を、パブリックコメントという。

パートナーシップ partnership

共同、協力、参加などの意であるが、最近では、「協働」という広い意味合いで用いられることが多い。市民、行政、社会資本施設管理者が協力して、社会資本の整備や利活用を図ること。

アカウンタビリティ accountability

説明責任すなわち行政機関の市民に対して負うべき事業の信頼性、あるいは事業執行にかかわる成果の評価とその報告義務のこととされる。アカウンタビリティでは、ある責務に対して応答すること（responsive）、その責務について責任を負うこと（liable）、負わされている責務の施行状況について説明すること（answerable）が課せられる。

【合意形成と意思決定】

社会資本整備の事業を実施する場合、管理者と市民の間で事業の実施について合意していくための「合意形成プロセス」がまず必要である。次いで、何らかの形で「合意形成」が行われ、それに基づいて事業実施に責任をもつものが、その事業の実施を「意思決定」していくプロセスが必要である。

2. 行政と市民のコミュニケーション手法等の類型

事業・施策の説明をする 行政→市民

1. 住民説明会
2. 講演会・シンポジウム
3. ホームページ・広報

事業・施策の要望・提案を受ける 市民→行政

官主導

4. 意向調査（ヒアリング・アンケート・意見箱等）
5. 見学会による意向把握
6. コンペティション・プロポーザル

民主導

7. 要望・陳情・請願

相互に意見を出し合意形成する 行政⇄市民

8. 協議会（公開・非公開）
9. 討論会・意見交換会
10. ワークショップ

相互に役割分担し、協働する 行政⇄市民

11. 自治会活動
12. 愛護会
13. アダプトプログラム
14. 公設民営等

三井共同建設コンサルタント株式会社
まちづくり事業部



■ 東日本

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
ゲートシティ大崎ウエストタワー15階

電話:03-6417-3209

電送:03-6417-3061

担当:高橋 恵一

■ 西日本

〒552-0007 大阪府大阪市港区弁天一丁目2番1-1000号
大阪ベイトワーオフィス10階

電話:06-6599-6053

電送:06-6599-6030

担当:楠 昌和